

2018.1更新

資源の種類: マウス	資源名、系統名(背景系統)	特徴、内容および特記事項など(改変遺伝子名・改変の概要)	利用制限の有無	担当者あるいは管理者	系統名、文献など
マウス	K19-Wt1/K19-Ptgs2/K19-Ptgs (B6-Ganマウス) (B6)	Wt1, Ptgs2, Ptgs (Wt1, COX-2, nPGES-1)・K19遺伝子プロモーター制御下にWt1, Ptgs2 (COX-2)、Ptgs (nPGES-1) 遺伝子を発現し、胃粘膜に腫瘍を自然発生する	無し。ただし論文引用のこと。CARD書式でのMTA必要。Oshina H et al., Gastroenterology, 131: 1086-1095, 2006.	大島正伸	Oshina H et al., Gastroenterology, 131: 1086-1095, 2006.
マウス	Mm-FVB-TgHFRS2 α flox (FVB/N)	FRS2al pha・FRS2al pha遺伝子のエクソン5の周囲にloxカセットを入れた	第三者分与不可、共同研究のみ	後藤典子	
マウス	JMJD5-COx (B6)	JMJD5・JMJD5遺伝子のエクソン4をloxP部位ではさんだ構造	第三者分与不可、共同研究のみ	鈴木健之	Ishimura et al., Development, 139: 749-59, 2012.
マウス	JLP-flox (129, B6)	JLP遺伝子のエクソン5をloxP配列で挟む	第三者分与不可、共同研究のみ	善岡克次	Sato et al., Cell Death Differ, 22: 1260-1274, 2015.
マウス	JSAP1-flox (129, B6)	JSAP1遺伝子のエクソン3, 4をloxP配列で挟む	第三者分与不可、共同研究のみ	善岡克次	Iwanaga et al., Neurosci Lett, 429: 43-48, 2007.
マウス	Raptor flox (B6)	Raptor・Raptor遺伝子のエクソン2をloxP配列で挟む	第三者分与不可	平尾敦	Hoshi T, et al., mTORC1 is essential for leukemia propagation but not stem cell self-renewal. J Clin Invest., 122(6): 2114-29, 2012.
マウス	NSP7-EGFP (B6)	マウスNS promoterにてEGFP遺伝子を発現させるTGマウス	第三者分与不可	平尾敦	Ohmura M et al., Stem Cells., 26(12): 3237-46, 2008
マウス	RECK KO (129, B6)	RECK・RECK遺伝子のエクソン1内にネオマイシン耐性遺伝子(neo)を挿入 マイシン耐性遺伝子(neo)を挿入	第三者分与不可、共同研究のみ	高橋智聡	Ch et al., Cell, 107: 789-800, 2000.
マウス	PYNODノックアウトマウス	PYNODの遺伝子(Nrp10)の第2エクソンを欠失するマウス	第三者分与不可、共同研究のみ	須田貴司	
マウス	PYNOD-floxマウス	PYNODの遺伝子(Nrp10)欠損マウスの第2エクソンの両側にloxP配列を持つマウス	第三者分与不可、共同研究のみ	須田貴司	
マウス	PYNODトランスジェニックマウス	CAGプロモーター制御下にPYNODを発現するトランスジェニックマウス	第三者分与不可、共同研究のみ	須田貴司	